

01-02 塔本シスコ展 こどもの心を持った おばあちゃん画家

03-04 石井正則 インタビュー

05-07 茂木大輔の新シリーズ徹底解説 vol.2

08 この漫画を読み! vol.5 合唱

09-10 INFORMATION

11 高校吹奏楽フェスティバル レポート

12 わたしレポート

13-14 突撃! PiPi提携ショップ『茶楽家われもこう』
校歌は地域をうたうvol.14



塔本シスコ

生活の中で描かれる、人生の絵

2012年に文化フォーラム春日井・ギャラリーにて開催された『アンリ・ルソーと素朴な画家たち』の中で、日本の素朴派として、山下清、谷内六郎らと共に紹介された塔本シスコ。50歳を過ぎてから制作を始め、92歳で亡くなるまでに多くの作品を残しました。数々の展覧会を開催する様になった後も職業画家ではなく、市井のおばあちゃんとして家族と暮らしながら、日々の生活を楽しみ、身の回りの自然を愛し、ただ描きたいように描き続けた、そんなシスコの魅力に迫ります。

テキスト=スタッフ 小笠原聖晃



<丸山明宏>
ダンボール/油彩、2002年



3世代が暮らした2DKの団地の自室兼アトリエ。四畳半の小さな部屋から、数多くの作品が生まれた。

塔本シスコの息子であり画家である、塔本賢一さんからのメッセージ

私の母・塔本シスコは、春が来ると梅や桜のスケッチに出かけ、夏には絵の具で彩色した手製の浴衣を着て盆踊りに繰り出し、秋には虫の音と月見を楽しみ、冬には着物の切れ端で日本人形をせっせと作り、雛祭りを楽しみにしていました。そんな四季を通して感じられる心の広がりや、母は絵画に残してきました。塔本シスコという画家がどんな人生を歩んだのか、豊かな老後とはどういうものかを、本展覧会で感じていただければ幸いです。

塔本シスコ (1913-2005)

熊本県宇城市生まれ。53歳から本格的に創作活動を始める。67年、熊日総合展に入選。69年、具現美術協会展にてカワチ賞・奨励賞を受賞。個展や家族展を精力的に開催。92年、画集『塔本シスコはキャンバスを耕す』刊行。00年にも続編を刊行。13年、生誕100周年として全国各地で展覧会が開催。



「シスコ」という個性的な名前は、明治期にサンフランシスコに憧れた父親の夢に因んで名づけられました。家庭の事情で十歳頃まで祖父母に育てられ、絵や工作が得意な子供でした。その頃の楽しい思い出の絵を多く描いています。その後、生家に戻りますが、生活が困窮していたため、学校には行けず家業の農業を手伝います。好きな様に絵を描くことは出来ませんでした。二十歳で結婚し、その後二児を授かります。子供の行事によく参加する、たいへん陽気な母親でした。子育てをしながら、夫の事業を手伝っていましたが、四十六歳の時、夫が事故で亡くなり体調不良が続きます。二年後には自身も脳溢血で倒れますが、手足と心のリハビリをかねて、自分で拾ってきた石を彫るようになります。次第に回復していき

ました。子供の頃からずっと絵を描きたいという気持ちがあったのでしよう。画家を志していた長男・賢一さんが部屋に残っていました。二十歳で結婚し、その後二児を授かります。子供の行事によく参加する、たいへん陽気な母親でした。子育てをしながら、夫の事業を手伝っていましたが、四十六歳の時、夫が事故で亡くなり体調不良が続きます。二年後には自身も脳溢血で倒れますが、手足と心のリハビリをかねて、自分で拾ってきた石を彫るようになります。次第に回復していき

塔本シスコ展 こどもの心を持った おばあちゃん画家

2/14(土)~3/29(日) 10:00 ~ 17:00
月曜休館

| 文化フォーラム春日井・ギャラリー
[料金] ¥300 ※65歳以上・中学生以下・障がい者手帳
を持参の方とその介助者1名無料
[後援] 春日井市、春日井市教育委員会
[助成] 公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団

人生の晩年だから描けるもの

子供や孫との思い出をテーマにした作品が多い塔本シスコ。幼少期は祖父母に育てられ、父親とは反目し合っていたそうです。そんな彼女ですが、83歳の時に「ソコイビ祭り」という作品で、父親に背負われた自分を描いています。絵に描くことで、もどかしい思い出が昇華されていったのかもしれない。彼女の作品からは、「喜」を強く感じますが、それも「怒哀楽」という内包された感情があるからこそだと感じます。

スタッフ
小笠原聖晃の
ちよっと
言わせて!



市井のおばあちゃんでありました。朝早く起きて絵を描き、庭で草花や小鳥を育て、共働きの息子夫婦に代わり孫の面倒を見ました。温かい家族、大好きな生き物達に囲まれて晩年を過ごしたシスコは、九十二歳で亡くなります。幼い頃の記憶、子供や孫達との思い出、日々変わりゆく身近な自然を、思うがままに表現したシスコ。作品は彼女の人生そのものなのです。

最後の100号

九十歳の誕生日に、孫の研作さんからプレゼントされた花を描いた作品。花束を手渡された際に、研作さんから「100号に描いてね」とお願いされたシスコは、「これは大変だ」と一回咬いたそうです。この頃、認知症を発症していたシスコ。「思い通りに描きたい」という強い気持ちは変わらず、何度も描き直して創り上げた作品です。

本物の通りに描く

「画中に『シスコ馬入れ川でおよぐシスコ9さい』と書かれた、まるで絵日記のように楽しい作品。描いたのは八十八歳の時。八〇年も前の思い出が、まるで写真のように鮮明に描かれ、瑞々しいことに驚かされます。シスコはいつも「本物の通りに描いている」と言っていました。作品には真実が現れているのです。

溢れる命

息子の賢一さんと、大阪の桜の名所に行った時を描いた作品。描かれている花は全て桜です。右下に描かれている子供は、遠足に来ていた園児たち。描かれた人や物の大きさに違和感も覚えますが、シスコは思い出の中にある人や物、時間でさえも等しく命を吹き込みます。それは彼女にとって、ごく自然なことなのです。



<造幣局の桜> キャンバス/油彩、1987年



<馬入れ川> キャンバス/油彩、2001年



<90才のプレゼント> キャンバス/油彩、2003年



趣味の写真や珈琲にも共通する、
朗読の”シンプル”さ。
そこから豊かなイメージが生まれる。

特に写真や珈琲にこだわりがあるのですが、実は朗読と共通点があるんです。例えば写真はフィルムカメラでモノクロ撮影するんですが、色もない動きもない、カメラの画角に収めなくてはいけない、という果てしない制約があります。でもその中で、何が表現できるか？何が表出するのが面白い。

珈琲も大好きなんですけど、あれって煎って砕いた豆をお湯が通過するだけのものですよ。なのに、「あの店の焙煎が美味しい」、「あの産地の豆はナッツの香りがたまらない」など、とても奥深い。極限までシンプルな世界であればあるほど、少しの差がはつきり出ちゃうんです。そういうところに、逆に豊かさを感じます。

茶道の世界に「侘び寂び」ってありますよね。華美に盛っていく表現にももちろん面白さはあるけれど、枯れて



会場ごとに違いますね。むしろ違わないと、生の舞台としては嘘になる。聴いているお客様だって違和感を持つんじゃないかな。それは、あんまりしたくないんです。

——まさにライブの醍醐味ですね。
この朗読は、音楽も重要な

マルチな才能が挑む 石井正則の 朗読&音楽の世界

お笑いコンビ『アリス・キリギリス』の真面目キャラクターから、三谷幸喜演出のドラマ出演をきっかけに俳優としての実力が注目され、映画『EM』有頂天ホテル、舞台『樹海』、ナレーション『Mr.サンデー』と、次々に活躍の幅を広げている石井正則さん。軽妙かつコミカルな演技に定評のある彼が、新境地となる”朗読”に挑んでいます。昨年六月に東京にて開催された初演は、満員御礼の大盛況！老若男女問わず多くのお客様が、石井正則ワールドに引き込まれました。そして今年、満を持してとび出す地方公演第一弾は、なんとこの春日井！朗読に対する、石井さんの静かなる熱い思いに迫りました。

取材 二〇四年十一月十七日@東京・株式会社オリブ
テキスト&スタッフ 藤江真子 写真&スタッフ 後藤友介

考える前にとにかくやってみる

——幅広い分野でご活躍をされていますが、何か意識されている事はありますか？

特にはないですね。俳優やナレーションに限らず、計画をあまり練らないで、とにかくなんでもやってみるタイプなので。大きな山を登るにも、登山計画を立てない感じですね。繰り返しやることで「あー、こういう感じか」って分かってくる、その気付きを頼りに登るみたいな。なので、朗読も「この本はこういう作品だから、こう表現しよう」とか事前にイメージ作りはしない。自分が完全に本の中に入り込むほどに、繰り返し読む。するとセリフや仕草が自然に出てくるんです。

豊かさを感じるポイントは、
「侘び寂び」

——テレビドラマ『古畑任三郎』の西園寺守役をはじめ、テレビや舞台でも活躍されていますが、今回は新たに朗読に挑戦されますね。

世にある様々なエンターテインメントの中でも、朗読というジャンルはとにかくシンプルな芸術。そんなところに惹かれました。僕は結構多趣味で、準備が出来ないので、とてもスリリングですね。春日井ではどんなお題が出されるか今から楽しみです。

春日井公演限定！

この地に伝わる伝説を揃えた
『春日井のむかし話』を朗読！



インタビューの後、春日井の民話を揃えた『春日井のむかし話』を石井さんに見ていただきました。「各地方に眠る民話や童話って面白いですよ。『尻冷やし地蔵』ですか!? 興味深いですねえ」公演当日はどの作品がどう読まれるのか？ 楽しみます！

石井正則 ~Sound of Story~ 言葉と音楽で綴るコンサート

4/18(土) 16:00~ (開場は30分前)
| 春日井市東部市民センター
[チケット情報] PiPi会員電話先行予約 2/8(日)~12(木)、インターネット予約 2/17(火)~19(木)、一般発売 2/21(土)
[料金] ¥3,800、PiPi会員¥3,500
全席指定、当日券同額、未就学児入場不可
[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、東部市民センター窓口、電話&インターネット予約、チケットぴあ(Pコード441-677)

主な出演者



石井正則 渚あき 山本愛香

深い味わいの語り口

テレビや映画を通して観ていた石井さんは、テキパキとした演技をするイメージがあったんですが、今回お話を伺ってみてびっくりです。仕事や趣味に対する哲学があり、丁寧に選ばれた言葉がゆっくりと話される姿は、とても紳士的！様々な表情を魅せてくださる石井さんに、今後も注目です！



スタッフ
藤江真子の
ちょっと言わせて！

モーツァルト

三十五歳で永眠した、若き作曲家が成し遂げたこと

今から約二五〇年前、モーツァルトが生きていた十八世紀後半は、イギリスの産業革命、フランス革命、アメリカの独立宣言と、世界がめまぐるしく変動した時代でした。

そんな激動の世紀に、三十五年という短い生涯で、数多くの楽曲を生み出したモーツァルト。地域や時代を超え、今もなお、モーツァルトの音楽に魅了されるのは何故でしょうか？ そして、誰もが知る音楽家として語り続けられているのは何故でしょうか？

演奏・指揮・企画など、音楽と多角的に向き合う茂木大輔さんに、そのいろいろな秘密を教えてくださいました。

取材：二〇一四年十二月十日@名古屋 テキスト：スタッフ 山川愛



モーツァルトは何故こんな音が書けるんだ！って、演奏しながら、心の中で、絶叫してます！

答えてくださったのは、この方！
茂木大輔 (NHK交響楽団首席オーボエ奏者、指揮者)

映像解説付きコンサートでモーツァルトを堪能する

すべてのことを音で表現できる 感覚の天才



左から、従姉妹のマリア・アンナ・テークラ、モーツァルト、父のレオポルド (1780年頃)

二月・三月と春日井でモーツァルトの作品ばかりを演奏するコンサートを開催します。たとえば三月に上演する『交響曲第四十番ト短調K550』。AKB48のゴジハル出演の口内炎のCMだと言われれば「あれね」と分かります。そんな、モーツァルトの音楽について、もう少し教えていただけますか？

まずモーツァルトが生きた時代の、音楽家の立場は、今と随分違っていました。専門に仕事をする「作曲家」や「指揮者」は名称そのものが存在しませんでした。新しい曲を書く「作曲家」と宮廷音楽家、中でも「楽長」と呼ばれる存在です。

特に宮廷音楽は、晩餐の伴奏や宮廷内の娯楽、さらには式典や祝宴で賓客に聴かせるためのもので、大きな宮廷ほど多数の優れた音楽家を高給で雇い、新しい曲を書かせていました。

最後の演奏会は予約者が三人だったみたいね。——そんなモーツァルトにとって、交響曲とは、どんなものなのでしょう？

モーツァルト自身が一番書きたかったものはオペラでした。「フィガロの結婚」を始め、モーツァルトの神髄が最大限に発揮されているのです。次に彼が得意としたのは、自分で演奏するピアノ協奏曲でしたから、意外に思われるかもしれませんが、交響曲は脇のジャンルでした。

しかし彼の最後のシンフォニーになった『三大交響曲』(三十九番、四十番、四十一番)は、規模、深み、輝かしさなど、これまでの交響曲に対する制作姿勢と、明らかに腰の据え方が違います。

——四十番以前の交響曲は、今、私たちがイメージする交響曲と別のものだったということですか？

モーツァルトの時代、十八世紀において交響曲(シンフォニー)というのは、演奏会の最初と最後に弾いたり、間奏曲のように演奏されるものでした。主役は常に歌、オペラ歌手。さらに器楽の独奏などが曲芸的にそれを彩る。交響曲は、コンサートの開始、終了の合図や、幕間の音楽のような役割でした。

今のように通し演奏が絶対ではなく、

——あその宮廷の祝宴がいい、とか、噂になるわけですね。

そう、料理、食器、絵画、宝物、軍隊、音楽。これらが宮廷の評価になる。「ハイドンのオペラを聴きたければ、彼がいるエステルハーザ宮に来い！」っていう感じなわけ。

モーツァルトは幼少時代から宮廷音楽家の父親に英才教育を受け、神童として世界中を回っていましたが、結果的に、楽長になれませんでした。故郷ザルツブルクの宮廷と行き違い、クビになってしまったからです。

——その経緯があつて、モーツァルトは自主的な演奏会をやり始めたんですね。ウィーンで貴族にレッスンをしたり、演奏会を開いて生活しようとした。

「音楽の歴史上、最初のフリーランサー」とか言われていますね。人気はあったので、当たるだろうという目論みがあったんでしょう。事実、演奏会の予約リストは当初、有名貴族で埋め尽くされ



モーツァルトの最後の日を描いた絵画 (1873年)

楽章を分離されて演奏されることもよくあつたようです。

——三月のコンサートでは、前半の『フィガロの結婚』の名曲アリア集の間に交響曲第三十五番『ハフナー』を挟んで演奏するそうですね。

そうですね。モーツァルトのブルク劇場リサイタルで、最初と最後に『ハフナー』を演奏した記録があります。全曲まるごと演奏したとは考えにくく、楽章ごとに演奏されたのでしょうか。

そもそも『ハフナー』は、セレナーデ(式典の合間に演奏するための伴奏音楽のセット)的音楽を四楽章に短縮して交響曲と名付けたものですから、むしろこうした使い方が性格に合っているのではないのでしょうか。「フィガロの結婚」からの素敵なアリアを「歌合戦」的に数曲聴いたら、シンフォニーの短い楽章を挟んで、耳と心を休め、また次の歌を聴く。モーツァルト当時の、歌手が主役だった演奏会の雰囲気と、



特集 vol.2
茂木大輔の徹底解説!

茂木大輔の徹底解説!



そこでのシンフォニーの役割を味わって頂けたらと思います。

——交響曲という言葉は同じでも、違う音楽であった、ということですね。

こうしたBGMの交響曲から一転して、最後に作られたのが三大交響曲でした。ここに、明らかな交響曲の分水嶺があったわけですね。モーツァルトが三大交響曲、ことに今回取り上げるト短調(第四十番)を書かなければ、ペーラーヴェンはあれほど高い境地から交響曲を書くことはできなかった、と言われています。四十番のフィナーレの主題を、ペーラーヴェンは『運命』の第三章で書き写して用いているくらいです。

——そんなモーツァルトですが、彼の音楽の魅力とは一体何なのでしょう。

「音楽で心、感覚、夢、喜び、哀しみ、憧れ、さらには春の日差しや地獄の炎といった世界の全てを描き尽くし、それが限りなく美しく、心地よい響きの中に調和していること。すべてのパートが最高の歌を歌っていること」だと

思います。今回、オペラに最大の心血を注いだモーツァルトの最高傑作『フィガロの結婚』から名曲を選んで聴いて頂きますけれど、思春期の少年ケルビーノの年上の女への憧れ、好色な伯爵の嫉妬、その妻ロジーナの孤独や幸福な恋への回想、繊細で移ろいやすい人間の心が、誰でも歌えるような解りやすい旋律の中に見事に表現されています。

この傑作オペラはモーツァルトの生涯の頂点でもありました。「プラハの町中が『もう飛ぶまいぞ』を歌っている」と書簡に書かれています。

少年期からイタリアを幾度も訪れていたモーツァルトは、ドイツ的な楽器の用い方に加えて、「楽器を歌わせる」書き方をしました。それがモーツァルトを特別な存在にしたのです。オペラ・アリアを彩る美しい管楽器のソロの数々は、演奏していても脳天に突き抜ける快感があります。交響曲第四十番には、このケルビーノの歌(恋のため息)が引用されている箇所もあるんですよ。彼の交響曲は「楽器のオペラ」のような魅力に満ちていますね。

二月の公演では管楽器によるモーツァルトのオペラ『魔笛』も上演しますので、こちらも是非聴いて頂きたいと思います。——音楽って、なんかすごいですね。

オーディション番組から飛び出したオペラ・スターの物語

テレビのオーディション番組で一躍スターになった歌手と言えば、スーザン・ボイルが有名ですね。彼女に先駆けること二年前、同じオーディション番組での初代優勝者が、ポール・ポッツ。映画『ワンチャンス』の主人公です。

映画では、携帯電話会社で働く冴えない男であったポールが、一夜にしてスターになるというシンデレラ・ストーリーが、彼の少年時代から描かれています。デブで内気な、いじめられっ子の彼は、天性の歌声を持っており、オペラが大好きな子供でした。しかしながら、表舞台へ立つという大事な局面に陥って、その夢が断

たれるような試練が彼を襲います。これでオペラを諦めよう、と最後に掛けたチャンスが、オーディション番組『プリテンズ・ゴッド・タレント』でした。

映画の中で実際に聴けるポールの歌声にも酔いしれますが、この映画で一番輝いているのは、恋人ジュルズ。ポールの才能を信じ、背中を押し続けるキュートな彼女の姿に、終始心が温まる想いがします。才能を開かせるのは、本人の努力もさることながら、それを信じ応援し続けてくれる身近な人の存在なのだ、と改めて気付かせてくれる、最高に幸せな気分になる映画です。



©2013 ONE CHANCE, LLC. All Rights Reserved. 監督: デヴィッド・フランケル 2013年 / 104分 / カラー / 日本語字幕

第48回かすがい日曜シネマ「ワンチャンス」

3/29(日) ①10:15~ ②13:45~ ③16:45~

(開場は15分前) ※各上映前に15分のミニトーク有

文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

[料金] ¥900(当日¥1,000)、ペア¥1,700(当日¥1,900)

PiPi会員¥800、ペア¥1,500(ともに当日同額)

全自由席、上映時間指定、3歳以上有料

[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、

東部市民センター窓口、電話&インターネット予約

※セリフや情景をイヤホンで案内する音声ガイドあり(13:45~のみ)

小松淳子のこの漫画を読め!

vol.5 / 合唱 選・テキスト=スタッフ 小松 淳子

読めば歌いたくなる! 少年の合唱をテーマにした、オススメ漫画をご紹介します。



「イントロクイズ」で、一秒の半分くらい聴いたら、物凄く多くの事が伝わりますよね。作曲家たちは、実は読書や会話をはるかに超えた膨大なメッセージを短い時間で伝えているんだな、と最近をよく思います。

ニュータウンきずな事業 どんぐり芸術文化劇場 モーツァルトティック・バレンタイン

2/14(土) 15:00~ (開場は30分前) | 春日井市東部市民センター [料金] 一般¥2,000、学生券¥1,200(小学生~高校生) PiPi会員は一般のみ上記金額の¥300引き、団体割引あり 全席指定、当日券同額、未就学児入場不可 [プログラム] 管楽セレナーデ 変ホ長調、歌劇「魔笛」管楽9重奏版(編曲:ヨゼフ・ハイデンライヒ)



生演奏と投影で綴る 大作曲家の大傑作シリーズ vol.1 モーツァルト

3/7(土) 15:00~ (開場は30分前) | 春日井市民会館 [料金] 一般S席¥5,000、A席¥4,500 学生(小学生~高校生) S席¥2,800、A席¥2,500 PiPi会員は一般は¥500引き、学生は¥300引き 全席指定、当日券同額、未就学児入場不可 [プログラム] 交響曲第35番 二長調「ハフナー」、歌劇「フィガロの結婚」、交響曲第40番 短調



[両公演取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、春日井市東部市民センター、電話&インターネット予約 チケットぴあ(モーツァルトティック・バレンタイン: Pコード248-565 / 大作曲家の大傑作: Pコード248-568) ★2公演ご購入の方には、ウィーン直送 モーツァルトグッズをプレゼント!



スタッフ 山川 豊の ちよつとさせて!

目で見る!? イヤホンガイド

音楽家を取材する時の醍醐味があります。それは「あそこさ、♪~」ってその場で鼻歌を歌ってくださるところ。歌いながら話してくださるので、その曲の意味を深く知ることができます。ところで、今回の映像解説付きコンサートですが、春日井では「のだめ音楽会」でお馴染みですね。この映像解説形式って、何にあてはまるんだろう? と考えたときに、歌舞伎や展覧会のイヤホンガイドなんじゃないか、と思ったわけです。歌舞伎の場合、舞台は生モノですが、ガイドは録音。だから、舞台ごとに場面にあわせて裏方さんがピタッと再生しているんだそうです。そう、茂木さんが音楽でやろうとしてきた&しようとしていること、そのものじゃないですか。だからこそ、素人も玄人も、それぞれの楽しみ方ができる。そして、音楽をずっと深く味わえる。茂木さんならではの「目で見るイヤホンガイド」を、どうぞお楽しみください!

合唱コンクールの金賞を目指す、中学時代の青春模様 少年ノート ◎鎌谷悠希 / 講談社(全八巻・完結)

ポール・ポッツと同じく、天性の歌声を持つ蒼井由多香。天使の「ボーイソプラノ」と呼ばれる彼が、中学校の合唱部に入部したことで、部員達は夢だった合唱コンクールの金賞を目指すことになりました。しかしながら、由多香が市民オペラに誘われたことで、コンクールを目指す部員たちの中にひずみが生じてしまいます。繊細な由多香をはじめ、思春期の少年少女それぞれが内に抱える問題や困難。それでも、皆で一つの目標に向かうことで、それぞれが成長してゆく姿が丁寧に描かれています。毎日を一生懸命に、がむしゃらに部活動に打ち込んだ、キラキラと輝



顧問の先生と部員との、衝突からの和解シーンも見どころ。最後に先生も一緒に「青春」している姿は熱い!!

く青春。読後の、爽やかだけど少しだけ感じる切なさ、もう二度と戻れないあの時代を懐かしんでしまう感傷なのかもしれません。

“天使の歌声”を授かった少年たちの運命 MAMA(ママ) ◎売野機子 / 新潮社

歌の上手い子を集めた合唱団に入団し、寄宿舎で暮らす少年たち。彼らは、歌声の美しさが頂点を極めた時に、神に召される。「死ぬ」運命を背負っています。神から選ばれた名譽を望む者、恐れる者、選ばれなかった者。その「瞬間」がいつ訪れるかわからない中で、少年たちのヒリヒリするような精神状態のドラマが、静かな森の奥を舞台に描かれています。



萩尾望都や竹宮恵子に通ずる雰囲気作品です。物語は現在折り返し地点(現在4巻)らしく、先が非常に気になります。



友の会PiPiに入会すると、先行申込ができます。

見逃せない公演がぞくぞく登場!! イベントラインナップ

SHIFT CUBE vol.28

7月 松竹大歌舞伎
中村翫雀改め 四代目 中村鴈治郎襲名披露



7/17(金)2回公演
@春日井市民会館
PiPi会員先行申込ハガキ締切 4/4(土) ※2月末に送付
チケットぴあ特別電話先行予約 4/18(土) 10:00~24:00
一般発売 4/25(土)~
[料金] S席¥7,500、A席¥5,500、B席¥3,500 ※PiPi会員は上記金額の¥500引き 全席指定、当日券同額、未就学児入場不可

8月 キエフ・クラシック・バレエ
チャイコフスキー 3大バレエ・ハイライト
8/1(土) @春日井市民会館 6月発売予定

おとなとこどものための◎読み聞かせ
お話の森
前回、即完売した人気公演が再び!
8/9(日)2回公演
@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール
6月発売予定

スタインウェイピアノ開放します!
憧れのスタインウェイピアノと舞台をひとりに!
8/14(金)~16(日) @春日井市民会館
[料金] 無料(要申込)6月中旬募集開始予定

9月 司馬遼太郎「燃えよ剣」
~土方歳三に愛された女、お雪~
9/19(土) @春日井市東部市民センター

11月 吉田正記念オーケストラ・コンサート
日本唯一の軽音楽専門オーケストラが、懐かしの名曲を演奏。合唱団員も募集予定! [助成] 一般財団法人地域創造
11/28(土) @春日井市民会館

2016年 1~5月 生誕10周年記念! 茂木大輔の生で聴く
“のだめカンタービレ”の音楽会
1/24(日)、3/13(日)、5/8(日)
@春日井市民会館

5月 第17回自分史フェスタ
「立花隆氏 特別講演」
5/23(土) 13:30~(開場は30分前)
@春日井市民会館
一般¥1,000、PiPi会員¥800
一般発売 3/4(水)~
全自由席、当日券同額、未就学児入場不可

50周年記念
加藤登紀子コンサート
~終わりなき歌~
5/24(日) 16:00~(開場は30分前)
@春日井市民会館

[チケット情報] PiPi会員電話先行予約 3/8(日)~11(水)、インターネット予約 3/14(土)~15(日)、一般発売 3/21(土・祝)
[料金] ¥5,000
※PiPi会員は上記金額の¥500引き 全席指定、当日券同額、未就学児入場不可
[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話 & インターネット予約、チケットぴあ(Pコード253-928)、ローソンチケット(Lコード45564)

加藤登紀子と舞台に立つ!
合唱団員を募集します。
名曲「百万本のバラ」ほか、全2曲を歌います。
(20歳以上で、5/8(金)、15(金)、22(金)13:30~のレッスンに参加できる方)
[参加料] ¥7,000(レッスン代、公演チケット代(1枚)、記念写真代含む)
[申込] 申込用紙(市内各施設にて配布、または財団HPよりダウンロード)に必要事項を明記し、2/28(土)必着で申込(定員60名) ※応募者多数の場合は抽選

6月 室井滋 長谷川義史
絵本朗読&ライブショー
6/6(土) 14:00~(開場は30分前)
@春日井市民会館

[チケット情報] PiPi会員電話先行予約 4/4(土)~5(日)、インターネット予約 4/7(火)~9(木)、一般発売 4/12(日)
葛西聖司の
極付! 歌舞伎セミナー
6/26(金)14:00~@春日井市民会館 4月発売予定

渦巻くものにさしのべる
木全佑輔展
現実と夢が交錯する画中にひきこまれる——描かれた人物やカタチが溶けだすその絵は、経験や知識で固定化された私たちの認識を、柔らかにゆさぶります。作家の私的体験と、自分の中の“何か”がつながる不思議な感覚へと誘われてみませんか。
Shift Cube担当=スタッフ 鳥羽都子
~2/8(日)
@文化フォーラム春日井・交流アトリウム 入場無料

掌編自分史作品集 最新刊発売!
掌編自分史 ただいま「〇活中」
あなたはただいま何活中?
全国から寄せられた掌編自分史142点の作品のうち、選りすぐりの40作品が1冊の本になりました。「笑活」「教活」「老活」など、様々なエピソードが満載です!人の数だけ物語がある。読後、「新しいことを始めるのに、年齢なんて関係ない!」ということに気付かされました。私も現在キー活中(キーボード演奏活動中)! あなたはどんな活動をはじめますか?
[発売日] 2/15(日) [料金] ¥1,000(税込)
[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ(代金引換サービスあり)
自分史担当=スタッフ 瀬在優実

非常口
避難訓練
コンサート

もしもの備えに!
体験型コンサート!



「お芝居やコンサートの最中に地震が起きたらどうしたらいいの?」考えただけで、ぞっとしますね。もしもの時に備えて、春日井市民会館での避難訓練を体験してみませんか? 今回の避難訓練コンサートでは、実際のコンサートの最中に地震が起きたと想定し、出演者はもちろん、観客の皆さんやスタッフも一緒に市民会館の屋外へ避難する訓練を行います。もちろん、避難訓練が終わった後は、豊富な楽曲レパートリーを持つ愛知県警察音楽隊によるコンサートをたっぷりとお楽しみいただけます!

3/24(火) 14:00~(開場は30分前)
@春日井市民会館
[料金] 無料 [申込] 3/17(火)までに、電話、メール、FAXのいずれかで「名前、住所、電話番号、参加人数」を連絡。参加決定者にはハガキを送付。(定員になり次第メチ)

今月のお客さま vol.3

Sinzi Katoh展のお客さま

兵庫県姫路市より
パティシエ 真砂沙織さん



Shinzi Katoh展を拝見しに、家族揃ってはるばる姫路からやって来ました。いつも優しく可愛いデザインに癒されていますが、この春日井で生まれていましたね。来られて感激です! 私がやっているケーキ屋でも、Shinzi Katohグッズも販売しており、お客様にも大好評です。

「子どものためのスーパーキッズ・オーケストラ・コンサート」の
託児サービス利用者さま

プロの託児スタッフが責任を持ってお子様をお預かりする託児サービス。子育て世代の方も安心して公演を楽しめると大好評です! スーパーキッズ・オーケストラ(以下SKO)のコンサートで託児サービスを利用されたお母さん達から、嬉しい声を頂きました。



文化フォーラム春日井・和室にて。優しいスタッフさんに子供も安心!

- ・SKOの演奏はずっと聴きたかったので、今回は下の子を預けて、上の子とじっくり公演を楽しむことが出来ました。
- ・託児サービス、待ってました! 「託児があるなら公演に行きたい」というお母さんは多いです。
- ・青森から引越してきたので、春日井に子供を預けられる知り合いもおらず、助かりました。
- ・しっかりした託児スタッフさんが子供を見てくださったので、安心して預けることができました。
- ・利用しやすい料金だった。またお願いしたいと思える値段。
- ・託児室が綺麗で良かったです。



子どものための
スーパーキッズ・
オーケストラ・コンサート

11/24(月・休)@春日井市民会館

[Report 79] テキスト=伊藤弘子



「若い才能のびやかに育って！」

スーパーキッズ・オーケストラ(SKO)のことは何一つ知らず、ちょっと上手な子どもたちがやっているのかな、くらいにしか考えていませんでした。でも演奏が始まった途端に、打ちのめされて「甘い認識で申し訳ございませんでした」と脱帽しました。それもそのはず、指揮者の佐渡裕さんが育て上げた、小学3年から高校3年までの、才能溢れる恐るべき子供たちなのです。客席の多くの子供たちをより楽しませるための工夫もあり、SKO

の演奏だけでなく、吉田絵奈さんによる鍵盤ハーモニカや、春日井児童合唱団とのコラボもありました。観客が持ち寄った楽器によるステージと客席との共演は楽しく、ユニークな企画でした。プログラムの最後には「花は咲く」を全員で合唱し、1曲目からアンコールまで、大空に向かって自由に躍動する若い才能に、すっかり魅了されたひとときでした。ここから世界にはばたいて！と応援せずにはいられませんでした。

「デザイナー Shinzi Katoh の素顔」

ずっと前から「Shinzi Katohのイラストが大好き！」と言っていた私の身の回りは、シンジ先生デザインのカップやメモ帳、バッグなどのグッズで溢れています。本展覧会と、先生のお話を直接伺える関連企画「Shinzi Katohに聞いてみよう！」は、飛び上がるほど嬉しい企画でした。また、先生が春日井在住と聞いて二重の喜び！40年以上も商業デザイナーとして活躍し、海外でも大人気の先生。アトリエのスタッフに「楽しくなくなったら、辞めよう」と言って

いるそうです。そんな先生の言葉からは「楽しい気持ちから、いろんな発想が生まれてくるんだよ」という思いを感じました。日々オフィスで起こる苦労はひとつまみの塩、それによってかえって甘さが引き立つのだとか。先生の横に立つスタッフは少し緊張気味でしたが、先生は優しく見つめていました。これから全国で展覧会を開催していきたいとのこと。デザイナー Shinzi Katohの画家としての作品を、これからも楽しみにしています。



Shinzi Katoh
世界に愛される雑貨デザイナー・アーティスト
11/29(土)@文化フォーラム春日井・ギャラリー



[Report 80] テキスト=大橋正枝



第2部「シンフォニック・ステージ」

春日井高校・東高校・南高校の合同演奏で、「マーチ・プランニュー・デイ」などを披露。普段の3倍となる編成は、音圧もスゴイ！

吹奏楽フェスティバル
実行委員会
(12月10日@文化フォーラム春日井)



14人の代表部員からなる実行委員会。「宣伝チーム」「アンケート作成チーム」「2分間CM制作チーム」「アンコール制作チーム」に分かれ、先生や財団スタッフの協力のもと、ワークショップを行いながら企画を作り上げました。フェスの成功のカギは彼らが握っている!?



第1部「ステジドリル」

いよいよ開演した吹奏楽フェスティバル。最初のステージを飾るのは、春日丘高校吹奏楽部による「ウエスト・サイド・ストーリー」です。演奏はもとより、ピシッと揃った隊形は視覚的にも楽しめます。



アンコール お約束(?)のラストは、部員全員で演奏する「負けないで」。当然舞台上がりがきれないので、客席まで降りて演奏します。パフォーマンスを交えながら演奏する部員たちに、観客から惜しみない拍手が送られました。

毎年十二月に開催し、今回で二十二回目を迎えた「春日井市高等学校吹奏楽フェスティバル」。春日井市内七つの高校吹奏楽部が一堂に会し、各校の定期演奏会ではできないような大編成コラボ演奏や、爆笑の学校PRコーナーなど、企画満載の音楽祭をお届けしています。実はこのフェス、各校の代表部員二名ずつからなる「吹奏楽フェスティバル実行委員会」が中心となり、企画から広報物の作成、当日の舞台進行までを行っています。学校の垣根を越えた仲間達と協力し、音楽を奏でる喜びから、コンサートの成功させる感動を分かち合う。真冬の寒い中、高校生達の溢れるエネルギーで市民会館は熱く燃えました！そんな彼らの一日をお伝えします。



リハーサル 朝礼で先生から喝を入れられ、眠れる魂が目覚める！リハーサルも全力で!!

朝8:30
全員集合!



空き時間

個人練習に余念のない真面目な部員達。もうすぐ本番です。手の空いた人は入場口で配るプログラム準備。グルグル回りながらチラシを折り込みます。



2分間CM 各校の活動や演奏会のお知らせなどを、演劇や歌を交えて楽しくPR。各校の個性がキラリと光るコーナーです。



第3部「ポップス・ステージ」

続いては、商業高校・西高校・高蔵寺高校。吹奏楽ポップスの父・岩井直博を偲んで、彼が編曲した『靴が鳴る』などを合同演奏。

指揮棒交換式

この演奏会、「東北支援リレー演奏会」として、各地の吹奏楽演奏会で指揮棒をバトンリレーし、復興への夢をつないでいます。



Q1 どこで情報誌FORUM PRESSを入手されましたか?

[]

Q2 今回のFORUM PRESSで、面白かったページに☑を付けてください

- P1-2 塔本シスコ展
- P3-4 石井正則 インタビュー
- P5-7 茂木大輔の新シリーズ徹底解説 vol.2
- P8 この漫画を読め! vol.5 合唱
- P9-10 INFORMATION
- P11 高校吹奏楽フェスティバルレポート
- P12 わたしレポート
- P13 突撃! PiPi提携ショップ「茶楽家われもこ」
- P14 校歌は地域をうたう vol.14

Q3 あなたが思う「春日井の魅力」を教えてください

[]

Q4 今後、FORUM PRESSで取り上げてほしい内容や、ご意見・ご要望をお聞かせください

[]

ご希望のプレゼントに1つ☑を付けてください
2015/3/13(金)必着

- かすがい日曜シネマ「ワンチャンス」ペアチケット
- 石井正則 ～Sound of Story～
- スターキャット直営館映画鑑賞ペアチケット

FORUM PRESS vol.66
読者アンケート

いつもFORUM PRESSをご愛読いただき、ありがとうございます。今後、より読み応えのある誌面づくりをしていくため、参考にさせていただきます。アンケートへのご協力をお願いいたします。

回答者プレゼント

抽選で次の1～3のいずれかをプレゼント!!

- ① かすがい日曜シネマ「ワンチャンス」3/29(日)16:45～ペアチケット[2名様]
- ② 石井正則 ～Sound of Story～ 4/18(土)16:00～ペアチケット[2名様]
- ③ スターキャット直営館(伏見リオン座、センチュリーシネマ)映画鑑賞ペアチケット[2名様]

アンケートの応募締切りは、**2015/3/13(金)必着**

たくさんのご応募、お待ちしております。

※当選は発送をもって代えさせていただきます
※当選者への発送は3月下旬の予定です



3番の歌詞にも出てくる『敬愛信』の石碑

歌

校歌は 地域を うたう

vol.14

歌詞からヒントを得て、
“まち”を探訪する
高蔵寺中学校

懐かしい風景と、 生徒たちの成長を歌う

JR高蔵寺駅近くにあり、瀬戸市から通学する生徒もいる高蔵寺中学校。俳優・奥田瑛二さんの母校でもあります。設立当初は「緑したたる」という歌詞の通り、徳州会病院が建つなど、時代とともに住みやすい街へと変わっています。二番まである校歌は、各学年のキーワードが盛り込まれています。一番に出てくる「若し」は、入学して間もない一年生。二番の「強し」は、今まさに力を蓄えている二年生。三番の「固し」は三年生で、高中生としてのプライドを固める...という意味です」と語るのは、生徒会のみなさん。覚えやすい、高の中の高中の、というフレーズも気持ちよく、歌っていると明るくなれるそうです。



春日井市立高蔵寺中学校
高蔵寺町北2-596
昭和22年4月開校

各学校で歌い継がれる校歌には、その土地の自然や歴史などが歌われています。今回は、春日井市内でも歴史の古い中学校をピックアップ！歌詞を手掛かりに、春日井という“まち”に迫ります。

生徒会が企画する、応援メッセージ

結

毎年3学期には、3年生への感謝や進路へ向けた激励の思いを込めたメッセージカードを作成します。それを主導するのが生徒会。彼らが企画を考え、1、2年生全員で協力して作り上げます。今年度は『アナと雪の女王』のキャラクター・オラフを題材にデザイン。オラフには「oh! laugh (笑う)」という意味があり、3年生の未来が笑顔でありますように、との願いを込めています。学年を超えて団結する校風は、『便強会』にも見られます。「便器を一時間かけてピカピカに磨くことで心も磨きます。有志200名くらいが集まるので、便器が足りないくらいです」という生徒さん達の笑顔も、ピカピカ輝いています！



様々な企画を立てる、生徒会メンバー



全生徒へのお知らせも、自分たちで作成！



同窓会で大合唱！

卒

「かすがいエッセイクラブ」で活動する梶田さんは、高蔵寺中学校の卒業生。学生時代、校舎の囲りには自然が溢れており、山の中を駆け回って遊んでいたそうです。「毎年のように同窓会を開いては、今も仲間たちとの友好を深めています。会の最後は必ず校歌を大合唱！校歌を歌うとあの頃の記憶が蘇りますし、元氣になりますね」と目を細めます。モノクロの卒業アルバムは、いつまでも大切な宝物です。



梶田美智枝さん

編集後記

仕事もプライベートも楽しんでいる人達は、とても魅力的だ。彼らが生み出す作品からも、そんな気持ちが滲み出ていて、僕らは観客として楽しく享受させてもらっている。雑誌デザイナー Shinzi Katohさんは「自分が創作を楽しめなくなったら、辞めようと思う」と言っていた。潔いと思う。多趣味で知られる石井正則さんは「公演日はMY自転車を持って行って、会館周辺を走ろうかな」と言っていた。本番前でさえ「楽しみを追求する」姿勢は、純粋に格好良い。年末年始のタイトスケジュールと忙しさの中で製作した今号。それでもみんな楽しく作りました。この仕事が好きだから。それが記事からも伝われば嬉しいなあ。(C)

読者アンケートから ご紹介

あなたが思う春日井の魅力

- 八田川沿いの遊歩道は、はにわがあつたり和歌が書かれていたり、歩いていてほんわかした気持ちになる。(40代・女性)
- 名古屋にも近く若い新婚さんも住みやすい町だと思います。(娘も引越しを考慮中)。(50代・女性)
- 春日井の高蔵寺ニュータウンがオールドタウンとして沈んでしまわず、より生活しやすい街としてあり続ける為の、住民達の提案や団結のエネルギー!!(50代・女性)
- 王子製紙のエントツを見ながら都会的な雰囲気をかもしだしているところ。(40代・女性)
- 名古屋市のすぐ大都市、お店が多い。(40代・男性)
- 勝川・鳥居松・高蔵寺と拠点が三か所もある。サボテンや書などで他地域と差別化して情報発信している若い街。(50代・男性)



突撃! PiPi 提携ショップ

茶楽家 われもこう

春日井市鳥居松町3-42-1
TEL.0568-81-4824
9:00~19:00(日祝は~18:00)
火曜・第2月曜定休
PiPi会員カード提示で会員本人に限り
代金の5%引き



レポート＝
スタッフ 瀬在優実

こだわりの詰まった 隠れ家カフェ



店長
後藤達也さん

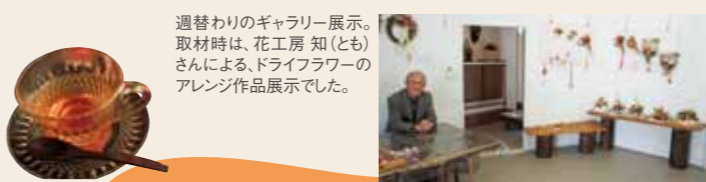
緑あふれる中央公園の横にひっそりと佇みながらも、趣きのある外観でお客様をお迎えする「茶楽家われもこう」。陶芸作品や雑貨を週替わりで展示するギャラリーを併設した、地元可愛されるお洒落カフェです。和風のしつらえで落ち着いた雰囲気。陶器で頂く珈琲。今回は、休日のカフェ散策を趣味にする財団スタッフ瀬在が、空腹をこらえながら突撃レポート！



泡立ち珈琲は舌触りなめらかで、ふわっと香りが鼻を抜けていきます
絶品わらび餅は、黒蜜ときな粉が絶妙に絡み合う
卵焼きタイプのサンドイッチは、熱々のふんわり食感



ギャラリー予定表など、告知コーナーも充実
店に馴染む懐かしいストープ。もう離れられない... (笑)



週替わりのギャラリー展示。取材時は、花工房 知(とも)さんによる、ドライフラワーのアレンジ作品展示でした。

突撃取材を終えて

“疲れを癒し、お肌をイキイキとさせるロワイヤルブレンド”など、女子に嬉しいハーブティーも種類が豊富。落ちついたお店の雰囲気だけでなく美味しい料理は、心も体もほっかぽかになります。至福のひとつを是非！

(受取人)
愛知県春日井市鳥居松町5-44 文化フォーラム春日井
公益財団法人かすがい市民文化財団
FORUMPRESS 編集部行



フリガナ	お名前	歳
〒	ご住所	都道府県 市郡
お電話	会員番号	A

※友の会 PiPi に入会されている方は会員番号もお書きください。 ※ご記入いただいた個人情報は、当財団が、当財団主催事業のために使用し、それ以外に使用、または第三者に提供することはありません。

料金受取人払郵便
春日井局
承認
5024
差出有効期限
平成27年3月
31日まで

郵便はがき
486-8790
366

友の会PiPiは、こんなにお得!!



- ・一般に先駆けて申込み! ・入場料が1~2割引!
- ・最新情報をご自宅にお届け! 他にもまだまだ特典あり!

レギュラー会員 ¥2,000 / ゴールド会員 ¥3,000 / プラチナ会員 ¥10,000

お電話一本で入会できます! ☎ **0568-85-6078**

かすがい市民文化財団 主催事業 チケットインフォメーション

チケット予約方法

1. インターネット予約

当財団ホームページから「オンラインチケットの予約・購入」をご利用ください。



※全席指定公演についてはお好きな座席を選べます(一部公演を除く)。

2. 電話予約

PiPi会員の方 (受付時間 9:00 ~ 17:00)

PiPi会員専用 先行予約電話

☎ **0568-85-6078**

※会員電話先行予約期間のみ、先行予約を受け付けます。
※先行予約日が会員期限内であれば先行予約が可能です。また、チケット購入日が会員期限内であれば、割引特典が受けられます。

一般の方 (受付時間 9:00 ~ 21:30)

☎ **0568-85-6868**

※チケット発売初日のみ、10:00からの受け付けとなります。

チケット受取方法

1. 文化情報プラザで受取り (営業時間 9:00 ~ 19:00)

文化フォーラム春日井2階の文化情報プラザで、チケットを料金とお引換えください。取置き期間は2週間です。

※PiPi会員先行予約チケットの受取りは一般発売日以降になります。

2. 郵送で受取り (代金引換サービス)

郵便局の代金引換サービスで、ご自宅にチケットをお届けいたします。チケットと引換えに郵便局員に指定の代金をお支払いください。

※ご予約後、1週間程度でお届けします。日にち・時間の指定はできません。
※チケット代金の他に、代金引換手数料として¥500程度が必要です。

チケット一般発売初日の販売開始時間

[9:00 ~] ●文化フォーラム春日井2階・文化情報プラザ / 窓口販売

[10:00 ~] ●かすがい市民文化財団 / 電話・インターネット予約

●チケットぴあ / スポット / 電話予約

コンビニ (サークルK、サンクス、セブンイレブン) での直接購入

●ローソンチケット / 電話予約・ローソン・ミニストップでの直接購入

●セブンチケット / セブンイレブン マルチコピー機での直接購入

●イープラス / ファミリーマート ファミポートでの直接購入

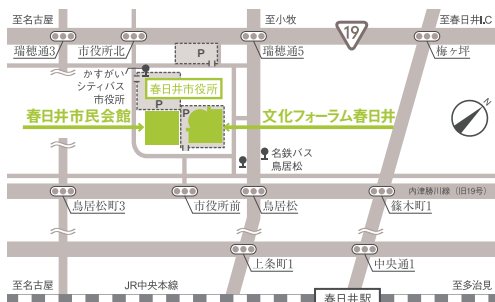
※前売発売の場合、当日券はありません。 ※記載価格は税込です。
※予約済チケットや購入済チケットのキャンセル・払戻しはできません。

文化フォーラム春日井 / 春日井市民会館

www.kasugai-bunka.jp

follow us @kasugai_bunka

486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44 [休館日] 月曜日 (祝休日の場合は翌平日)



交通のご案内

JR中央本線「春日井駅」北口より
・名鉄バス「鳥居松」下車すぐ
・徒歩 20分
・無料レンタサイクル 5分 (日・祝休み)

かすがいシティバスでお越しの方
・「市役所」下車すぐ

※駐車場は混雑が予想されます。なるべく公共交通機関や乗合車をご利用ください。

春日井寄席

春日井の **わ!** な、二人会 **4/4 (土)**

文化フォーラム春日井 視聴覚ホール

開演 午後1時30分

前売・予約 **1,500円**
当日 **1,800円**

小学生3年生以上 全自由席
前売販売:
文化フォーラム春日井2F
文化情報プラザ

●PiPi会員特典
和グッズ進呈(会員証提示)
さらに着物着用会場
Wプレゼント!!

問い合わせ・予約
090-1751-3516





朗読 春日井在住 **あば ともこ**

落語 春日井出身 **雷門 福三**

【主催】 NPO市民団体 おわり和 cultura 倶楽部

文化フォーラム春日井・ギャラリー

メンテナンス作業をレポート!

- 1 **まずは壁の掃除。真白な壁は小さな汚れも目立つので念入り! 穴はバテで埋めます**
- 2 **次の展示会の打合せ表でレイアウト確認。図面に合わせ、巨大な壁を必死で移動させます! 息を合わせて1、2の3!**
- 3 **壁を定位置に移動したら、床に固定。微調整はほとんどアクロバット!**
- 4 **高所作業台の組み立ては、大きな資材を持ち上げるため、危険です。集中!!**
- 5 **こうしてメンテナンスされたギャラリーは、次の展示会の搬入を待ちます。次はどんな展示会が開催されるのか、スタッフ一同ドキドキワクワク! 「観るだけでなく、展示会を主催したい」という方には、専門スタッフが丁寧にアドバイスさせていただきます。お気軽にご相談ください!**